CPUM) L 3

(1)二進数と論理回路

人類文明継続装置 輪廻 上口

監修: 矢口 裕明

(博士(情報理工学))

今回は二進数と論理回路、加算器の説明をします。

十進数:0,1,2,3,...,9,10 10で桁が上がる数の表現

二進数:0,1,10,11,... 2で桁が上がる数の表現

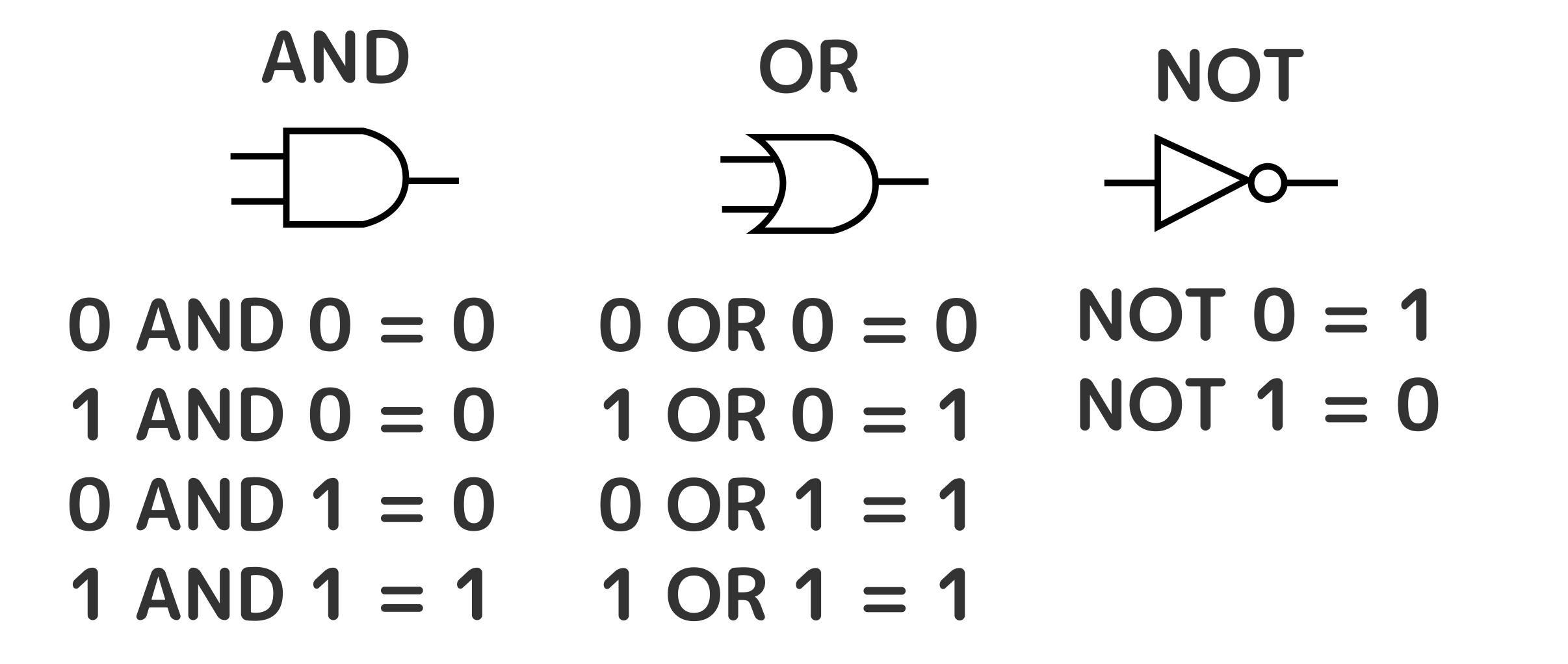
よく使われるきりのいい二進数 2の8乗=256 8桁の二進数が表現できる数(0-255) 2の10乗=1024=1000に近い数

一理回路

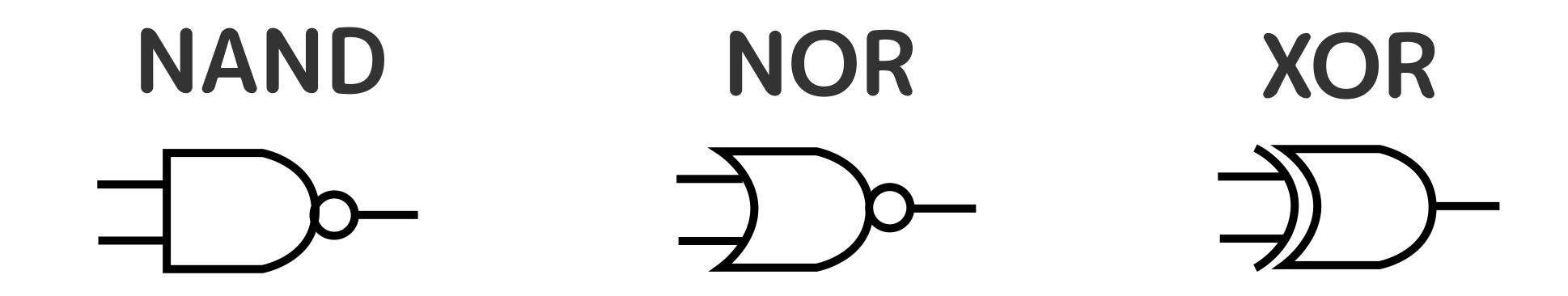
電子回路でデジタル(0,1)を実現する。 ピンの入力電圧があるかないかによって 出力する電圧が決まっていく。 電圧には種類がある。 5V, 3.3V, 1.8V, ...

組み合わせ論理回路

その瞬間のピンの入力電圧の組み合わせに対して出力する電圧を決める。



組み合わせ論理回路(つづき)



NAND := NOT AND

NOR:= NOT OR

 $0 \times 0 = 0$

 $1 \times 0R = 1$

 $0 \times 0 = 1$

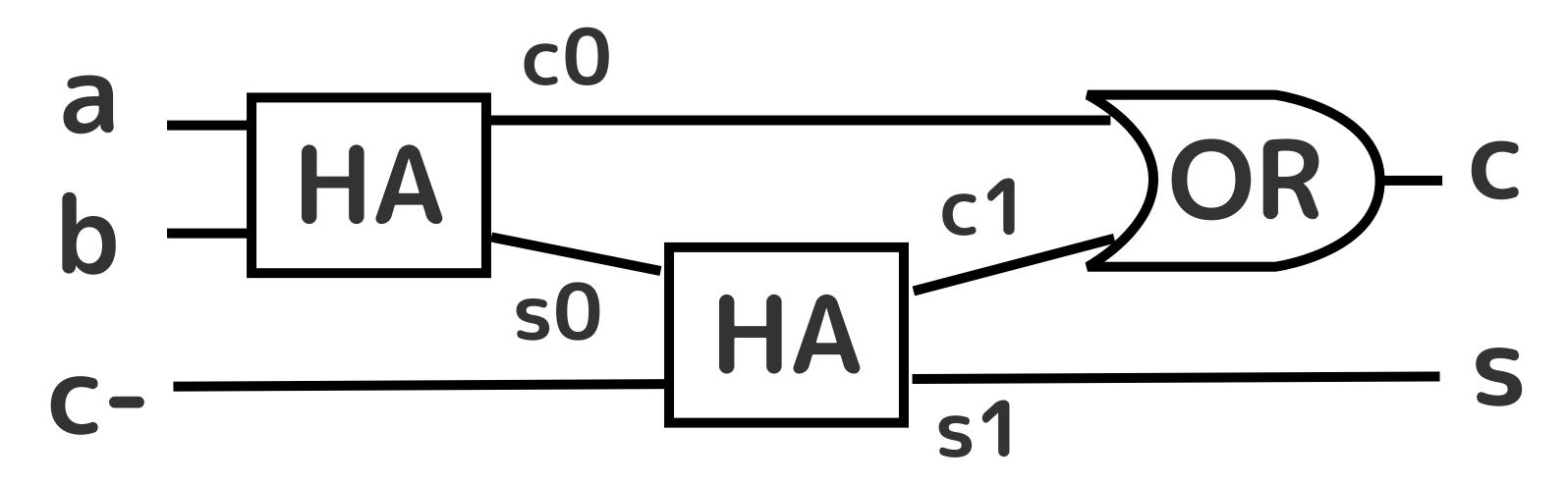
1 XOR 1 = 0

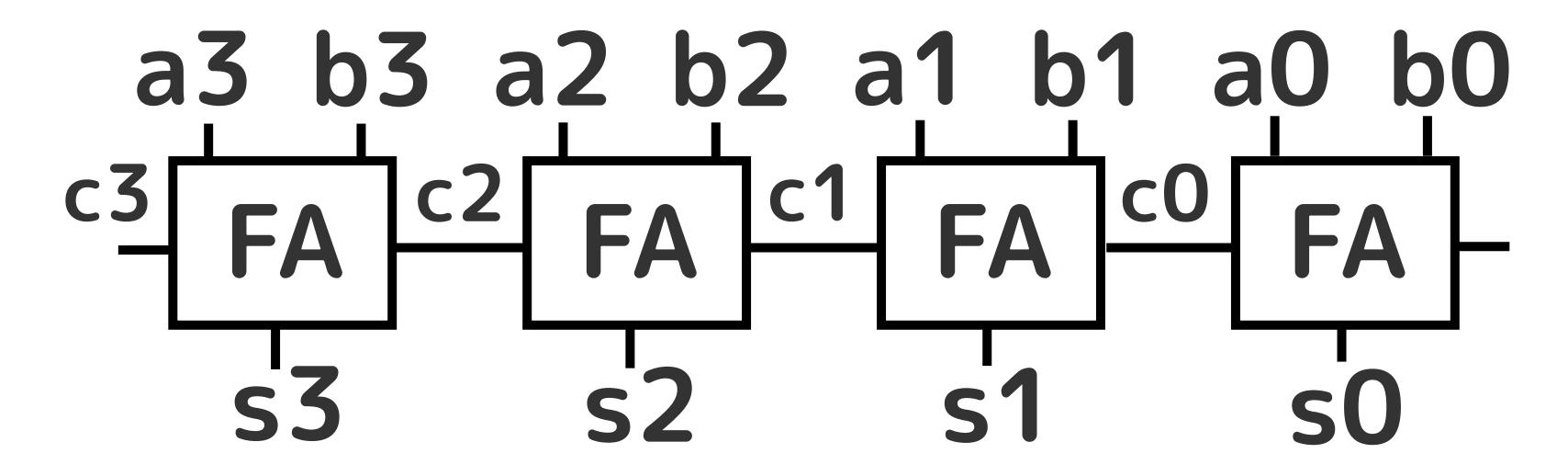
半加籌器

```
一桁の二進数どうしの足し算
0 + 0 = 00
1 + 0 = 01
0 + 1 = 01
1 + 1 = 10
a + b = (a AND b) *10 + (a XOR b)
これを半加算器(Half Adder)
と呼ぶ(一桁の足し算)
a AND b: c (carry), a XOR b: s (sum)
```

全加第器

全加算器(Full Adder)は半加算器を重ねて 下の桁からの繰り上げができるようにしたもの





4桁の足し算の例(あふれた桁は無視)

減算(負の数の表現)

減算は負の数を(1の補数)+1で表現して加算

例) 4 - 3 = 1, 100 - 11 = 1 11を100と同じ桁数にする -> 011 全ての桁ごとに1から引く(1の補数) -> 100 ここに1を足す -> 101 100 + 101 して -> 1001 あふれた桁を無視 -> 1 したがって、101は011の負の数とみなせる。

参考文献

- [1] David Patterson, John L. Henessy, 成田光彰(訳). 「コンピュータの構成と設計 MIPS Edition 第6版 [上] ~ハードウェアとソフトウェアのインタフェース~」, 日経BP, 2021.
- [2] David Patterson, John L. Henessy, 成田光彰(訳). 「コンピュータの構成と設計 MIPS Edition 第6版 [下] ~ハードウェアとソフトウェアのインタフェース~」, 日経BP, 2021.
- [3] 渡波 郁.「CPUの創り方」, 毎日コミュニケーションズ, 2003.
- [4] 西山 悠太郎, 井田 健太.「RISC-VとChiselで学ぶ はじめてのCPU自作オープンソース命令セットによるカスタムCPU実装への第一歩」, 技術評論社, 2021.
- [5] Takenobu Tani.「プログラマーのためのCPU入門 CPUは如何にしてソフトウェアを高速に実行するか」, ラムダノート株式会社, 2023.
- [6] 矢沢 久雄. 「コンピュータはなぜ動くのか 第2版 知っておきたいハードウェア&ソフトウェアの基礎知識」, 日経BP, 2022.
- [7] 馬場 敬信. 「算数で読み解くコンピュータの仕組み」, 技術評論社, 2022.

ライセンスについて

本文書のライセンスはクリエイティブ・コモンズ表示4.0 CC BY 4.0です。 © 2023 クシナダ機巧株式会社

フォントライセンス

- Rounded M+: M+ FONTS LICENSE